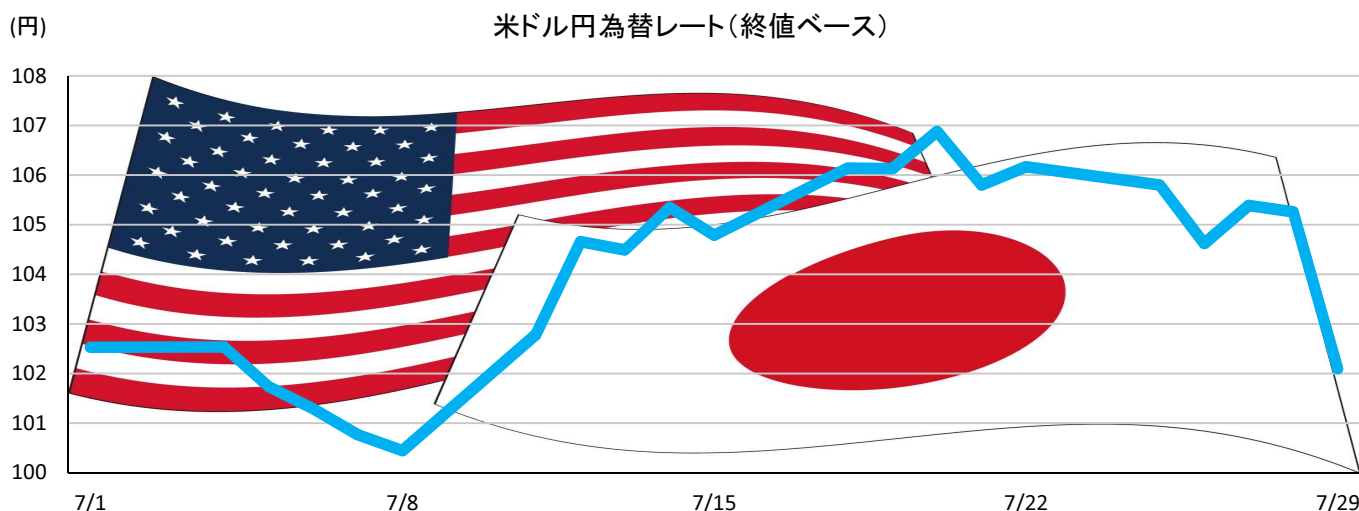


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 7月のドル円相場は、100円～107円の幅で推移。再燃した英国発のリスクオフモードにより、株式や為替といった金融商品が軒並み売られる展開。しかし、米雇用統計が市場予想を大幅に上回ったこと、日本の景気対策や金融刺激策への期待などもあり、一転してリスクオンモードとなり、全般に買いが先行。さらに経済対策の規模が20兆円超と報道されると円安が進行し一時107円台をつけた。ただ、日銀の黒田総裁が英国BBCとのインタビューで、ヘリコプターマネーの可能性を排除する発言をしたことから、期待されていた日銀の金融緩和が後退したと受け取られ、流れが円高モードに。月末に発表された米GDPが予想外に低調な結果となったことからドル売りが加速、円高が一段と進んだ。



EXTRA VISION

今後の展開: 今月は、FOMCやECB金利発表など重要指標発表がなく、さらに日本はお盆休み、海外では夏季休暇と市場参加者が少なくなり、流動性の低下から思わぬ動きを見せることもあるため注意が必要だ。中長期ではトランプリスクにも気を付けておかなければならないが、米大統領選挙の年はドル安円高の傾向があるため、米国利上げ問題と併せて頭に入れておいた方がよい。ただ、依然として円高が進んでいくと介入警戒感が台頭してくるため、一進一退の動きとなるのではないだろうか。仮に介入を行うとした場合、実際に介入するのか、またどの水準で行われるかは判断が難しいところだが、注意を払っておかなければならない事柄だろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
8 / 3 (水)	21 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆☆☆
8 / 4 (木)	20 : 00	UK	英中央銀行金利発表	☆☆☆☆
8 / 5 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
8 / 12 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
8 / 16 (火)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
8 / 23 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
8 / 26 (金)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆